

## 大会派遣 / 研修会参加



## 2018 年度 U-22 審判員春季研修会 参加報告

----- 「研修会に参加して」 2級審判員：足立 正輝 -----

今回、私は3月12日から15日の間、茨城県鹿島ハイツで行われた「2018年度U-22 2級審判員春季研修会」に参加させていただきました。

この研修会は「TRAUM CHALLENGE FESTA 2018 in SPRING」大学生の大会を使い研修会を行ってきました。『TRAUM』とは、ドイツ語で『夢』という意味で、この大会にふさわしい名前だと思いました。

審判員の2018年度研修会テーマは【Realising your Potential】～可能性を実現する～をテーマ、合言葉に研修会が始まりました。

また、「FKのマネジメント」を課題に今研修会を取り組みました

## ■ 1日目 ■

9 : 30	開講式
10 : 30	プラクティカルトレーニング
12 : 00	昼食
13 : 00	第一試合開始
15 : 00	第二試合開始
17 : 00	レフェリング振り返り
18 : 00	夕食
19 : 00	研修会
21 : 00	研修会終了

プラクティカルトレーニングでは、主審の体の向きとポジショニングのトレーニングを行いました。トレーニングイメージはFWが攻めDFが奪いカウンター/パス回しでFWに預けるといったシチュエーションで行ってきました。

## 〈第二試合〉産業能率大学 vs IPU 環太平洋大学

担当 R：横田宗拓氏(四国) A1：足立正輝 A2：帯同審判 inst：正木修一氏(東北)

今研修会初めに担当する試合は、副審から始まりました。

ラインキープする上でサイドステップをととても意識して入り、自分の目線がどれだけ上下せずに出し手と受け手の両方を視野に入れるように体の向きも工夫しながら試合を担当しました。タッチライン際での攻防が多くポジションをとることが難しかったのですが、反省会ではファウルサポートもオフサイドの判定も良かったと言っていました。ボールが出た時、判定した後の次の動きが遅いと言われ、「常に予測と気持ちの準備をしておくこと」とアドバイスをいただきました。

## 〈研修会〉FKのマネジメント

各班ごとにフリーキックの手順を話し合いました。みんな手順は同じなのに、なぜ上手くないのか？なぜ時間がかかってしまうのか？ディスカッションしました。

「形だけでマネジメントしていないか、笛を使いすぎではないか？再開時のポジショニングは？」と意見が上がりました。笛で始めると伝えても選手が勝手に始めるのはなぜか？→実は「形だけでやっており、選手は理解していないから」だとなりました。

形だけではなく効果のあるやり方で選手に伝えることで選手に理解してもらえます。

## ■2日目■

7:00	朝食
9:00	第一試合開始
11:00	第二試合開始
13:00	第三試合開始
15:00	第四試合開始
17:00	レフェリング振り返り
18:00	夕食
19:00	研修会
21:00	研修会終了

## 〈第三試合〉中央大学 A2 vs 早稲田大学

担当 R:足立正輝 A1:田中陽達氏(東海) A2:帯同審判 inst:石川正樹氏(北信越)  
FKのマネジメント、ポジショニングを意識して臨みましたが、「中央で何度もボールにぶつかりかけたり邪魔をすることが多い」とご指摘いただきました。

具体的な内容として、アドバンテージの使いどころがまずく、失敗しているのに戻さないのか、周りが見えていないから上手く採用できないのかを検証し、指導いただきました。

## 〈研修会〉ゲームの振り返り

\*オフサイドと反則が同時に起きた時 \*FKのマネジメント \*壁のコントロール  
\*ドロップボールの再開方法等

その日に起きた各ピッチ事象を共有、ディスカッションを行ったりしました。

## ■3日目■

7:00	朝食
9:00	第一試合開始
11:00	第二試合開始
13:00	第三試合開始
15:00	第四試合開始
17:00	レフェリング振り返り
18:00	夕食
19:00	研修会
21:00	研修会終了

## 〈第二試合〉流通経済大学 vs 日本体育大学

担当 R:足立正輝 A1:帯同審判 A2:帯同審判 inst:河野暁氏(四国)

FKのマネジメント、中央で邪魔にならないためにどうすればいいのかを考えて臨みましたが、FK時マネジメントで失敗(クイックリスタートを止めてしまい、チャンスとなる攻撃を潰してしまっ)してしまいました。

原因は視野外での反則に気が付くことが出来なかったことです。どちらも周りを見ていれば防げることだと言われました。視野外の反則に関して副審に聞くのも1つの方法でもあると教えていただきました。

## 〈研修会〉ゲームの振り返り

\*PKのキッカーを明白にし、周りの選手・スタッフ・観客にどのように伝えるか

\*FKのクイックリスタート/遅延 \*アドバンテージの良い例&悪い例

\*異議による懲戒処置の示し方と再開方法 等

事象を共有しディスカッションを行いました。

## ■4日目■

6:45	朝食
8:45	第一試合開始
10:45	第二試合開始
12:45	レフェリング振り返り
13:30	閉講式
14:00	解散

## 〈第一試合〉中央大学 A2 vs 立命館大学

担当 R:相馬寿哉氏(東北) A1:筒井勇氣(関東) A2:足立正輝 inst:宮部範久氏(中国)  
最終日は副審を担当しました。1日目に言われたことを意識して試合に臨みました。ファウルサポートしたが主審は違うところの反則を取りました。その事象に対してどのように対処したらいいのか話し合いました。ケガ人の対応も主審と協力し、スムーズに行うことができました。

## 〈まとめ〉

研修会では新たに自分の課題を見つけることができ、たくさんの事を吸収することができました。その課題を改善できるよう、【Realising your Potential】～可能性を実現する～ために挑戦していきたいと思います。

また、同世代の審判員にたくさん出会うことができました。世代別の研修会で顔見知りの審判員いますが、初めて会う審判員が多く、学びと刺激をもらう4日間でした。

最後になりましたが、このような素晴らしい研修会に参加する機会を与えて頂き本当にありがとうございます。日本サッカー協会、関西サッカー協会、兵庫県サッカー協会、並びに大会関係者には、本当にお世話になりました。ありがとうございます。

今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。



同世代の審判員と共に過ごし、刺激と学びをもらった4日間となりました。(上段右端が足立審判員)